

# ヤングケアラーが“みえる”社会にするために

—真に求める支援とは—

西脇 有咲（馬場ゼミナール）

HS19-1035B

## 論文の目次

はじめに

第 1 章 ヤングケアラーとは？

1 節 先行研究とヤングケアラーの定義

2 節 ヤングケアラーとなるきっかけ

3 節 18 歳未満に求められる姿とヤングケアラーの姿の違い

第 2 章 中高生の求めるヤングケアラーの支援策の実態について

1 節 分析方法について

2 節 二次分析①の結果

3 節 二次分析①の考察

4 節 二次分析②の結果

5 節 二次分析②の考察

第 3 章 ヤングケアラーの経験談から見るケアの実態

1 節 ヤングケアラーのケア内容の実際

2 節 経験談から見る求める支援のかたち

第 4 章 実際の支援とヤングケアラーが求める支援の対比

1 節 実際に行われている支援

2 節 ヤングケアラーが求める支援方法

3 節 中高生の求める支援と実在する支援を対比させた結果

第 5 章 全体のまとめと考察

おわりに

## 論文の要旨

### 1 研究の目的

学校生活におけるヤングケアラーの実態を明らかにすることを通じて、彼らの置かれた環境を把握し、早期発見と効果的な支援につなげていくことを可能にするための方策を模索することを目的とする。

### 2 研究方法及び分析方法

- ・既存の調査データ（令和 3 年度 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング『ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書』）を用いた二次分析
- ・澁谷智子編『ヤングケアラー私の語り』を用いた経験談の事例分析
- ・ヤングケアラーの求める支援と実際行われている支援の対比

### 3 主な知見

#### 3.1 ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書の二次分析で得た知見

- ・支援について不満や不足感を抱いている中高生が 4 割程度存在していること
- ・ヤングケアラーという言葉の認知度が低く、その点を改善する様な対策が求められているということ

#### 3.2 経験談からの事例分析で得た知見

- ・6 名の元ヤングケアラーの経験談から、どのヤングケアラーも共通してお手伝いを超えた家事や家族の世話を日常的に行っていたこと
- ・ケアをする中での苦労や環境について知ってほしいという思いを持っていること

・「誰もが生きやすい社会」「ケア経験をマイナスな経験としてではなくプラスの経験として受け入れ活躍できるような社会」を求めているということ

### 3.3 ヤングケアラーの求める支援と実際行われている支援の対比で得た知見

・中高生の求める支援に対して現在対応している支援法は存在しているものがほとんどであること

## 4 考察・結論

ヤングケアラーについて知る機会を設け認知度を上げること、相談する側、相談される側が確認可能な環境にすることでヤングケアラーが相談しやすい環境を作ることが中高生の求める支援を実現していく上で必要であると結論づけた。

考察では、ヤングケアラー支援において求められていることは、現在存在する支援を拡充させるということよりもまず、支援があるということを知ることができる機会を増やすことなのではないかと考え、SNS を活用することを提案した。正しい使い方で SNS を有効活用し、ヤングケアラーという言葉から身近なものにしていくことがヤングケアラーたちの求める支援を実現していく第一歩になるのではないかと考えた。

### 主要参考文献

澁谷智子編, 2021, 『ヤングケアラー わたしの語り』生活書院.

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング, 2021, 「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」厚生労働省.

[https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai\\_210412\\_7.pdf](https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai_210412_7.pdf)

厚生労働省, 「ヤングケアラーについて」.

<https://www.mhlw.go.jp/stf/young-carer.html>